

PowerEdge T440 システム
LTO8 テープ バックアップシステム
簡易操作マニュアル

デル・テクノロジーズ株式会社

日本コムシス株式会社

2020年9月

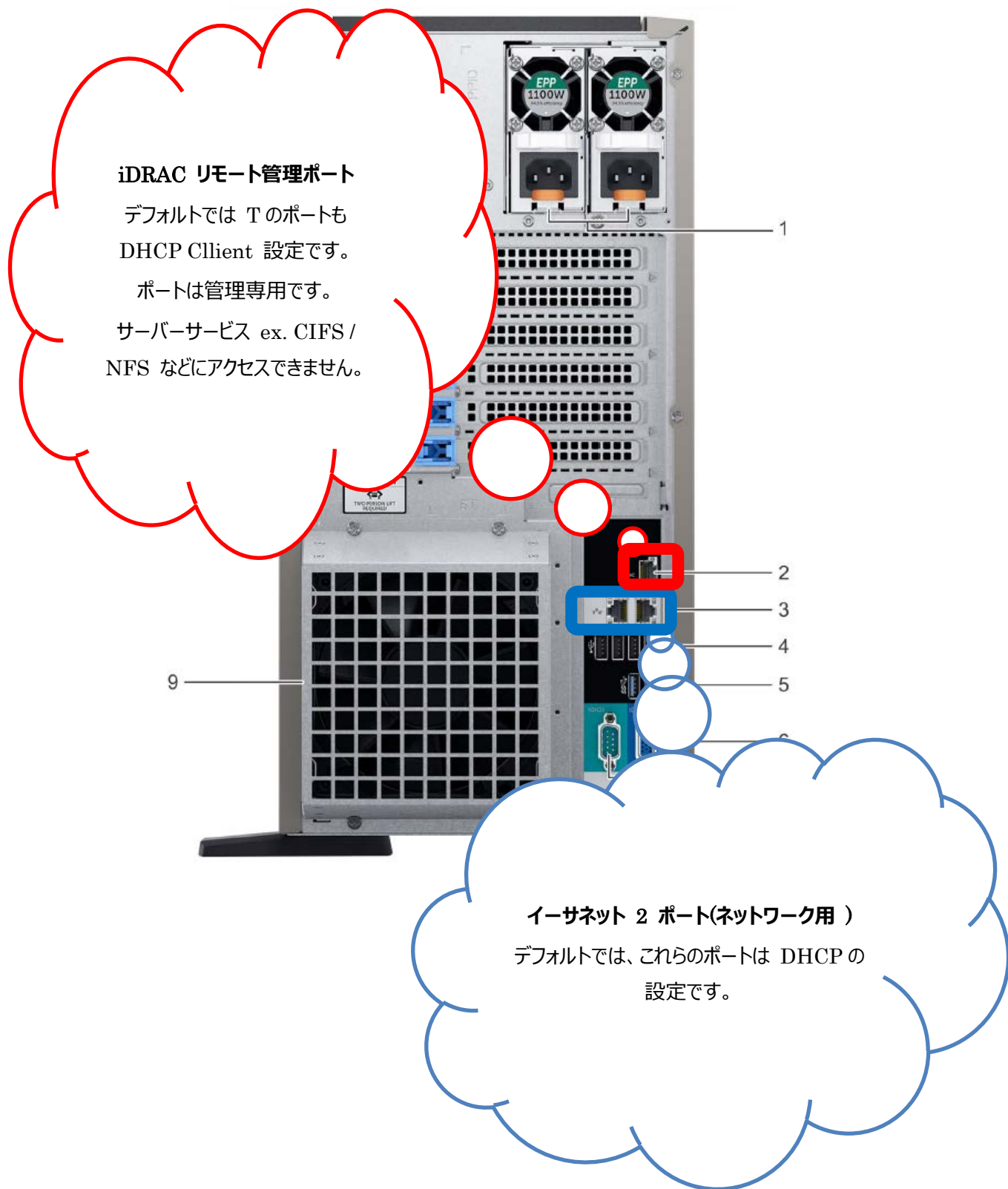
バージョン・コントロール

Version	日付	Creator	
1	2019.3.12	日本コンシス株式会社	最初の版を作成しました
1.1	2020.9.10	デル・テクノロジーズ株式会社	機器画像、参照情報追加

T440 デバイスの正面図



T440 デバイスの背面図



Mac address の確方法

ifconfig コマンドを使用して NIC の MAC アドレスを確認できます。

※以下の出力は、例えば eth0、eth1 等の環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

```
# ifconfig -a
eth0      Link encap:Ethernet(1)  HWaddr 00:80:90:44:08:11(2)
          inet addr:192.168.1.11(3)  Bcast:192.168.1.255(4)  Mask:255.255.255.0(5)
          inet6 addr: fe80::3199:ff:fe01:3762/64 Scope:Link(6)
          UP(7) BROADCAST(8) RUNNING(9) MULTICAST(10)  MTU:1500(11)
          Metric:1(12)
          RX packets:583312 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0(13)
          TX packets:28344 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0(13)
          collisions:0 txqueuelen:100(13)
          RX bytes:4987886272 (4.9 GB)  TX bytes:50440257 (50.4 MB)(14)
eth1      Link encap:Ethernet  HWaddr 00:80:00:48:AA:88
          BROADCAST MULTICAST  MTU:1500  Metric:1
          RX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
          TX packets:0 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
          collisions:0 txqueuelen:100
          RX bytes:0 (0.0 B)  TX bytes:0 (0.0 B)
lo        Link encap:Local Loopback
          inet addr:127.0.0.1  Mask:255.0.0.0
          UP LOOPBACK RUNNING  MTU:3924  Metric:1
          RX packets:16 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
          TX packets:16 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
```

USB ディスクマウントから LTO8 テープへのバックアップ/復元フロー

- i. USB ハード ディスク ドライブを接続します。
- ii. ファイルシステムのマウントを確認します。ノーメ 'ソーチラス' ファイルシステムマネージャ。デフォルト#By、Cent OS 7 には自動マウント機能があります
- iii. /dev/nst0 デバイスは LTO 8 ドライブです。
- iv. コマンドの tar cvf コマンドを使用して、LTO8 テープに already マウント・ファイルをバックアップします。
- v. コマンド mt コマンドを使用して LTO8 テープ・ドライブを操作できます。
- vi. LTO8 テープから USB ディスクにファイルを再ソートリングする場合は、コマンド mt を使用してテープヘッドを正しく移動する必要があります。
- vii. tar アーカイブを USB ディスクに復元するには、コマンド 'tar xvf' コマンドを使用します。

***注意 *** この操作は、ハード ディスク ドライブのデータを上書きします。

テープデバイス

テープデバイスは/dev / st0 および/dev / nst0として認識されます。

□ / dev / st0 は、読み取り/書き込み操作後に自動的にテープを先頭に巻き戻します。

□ / dev / nst0 は、読み取り/書き込み操作の後、次のファイルの先頭に移動します。

テープの状態を確認する

mt コマンドでテープの状態を確認します。

```
# mt -f / dev / nst0 ステータス
```

```
SCSI 2 テープ ドライブ:
```

```
ファイル番号 = 4、ブロック番号 = 0、パーティション = 0。
```

```
テープ ブロック サイズ 0 バイト。密度コード 0x46 (LTO-4)
```

```
最後のステータスからソフト エラー数 = 0
```

```
一般ステータスビットオン(81010000):
```

```
オンライン IM_REP_EN
```

```
#
```

テープ操作

テープを巻き戻す場合は、mt コマンドで巻き戻しを指定します。

```
#mt -f / dev / nst0 巻き戻し
```

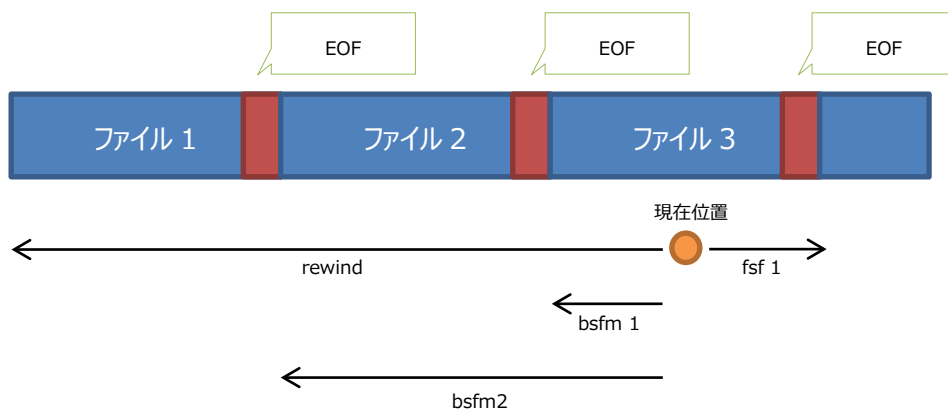
テープを現在の位置にある次のファイルの先頭に移動するには、mt コマンドで fsf 1 を指定します。

```
# mt -f / dev / nst0 fsf 1
```

テープを現在の位置のファイルの先頭に移動するには、mt コマンドで bsfm 1 を指定します。

```
#mt -f / dev / nst0 bsfm 1
```

現在の位置にあるファイルの直前のファイルの先頭にテープを移動するには、mt コマンドで bsfm 2 を指定します。



#mt -f / d

ev / nst0 bsfm 2

tar コマンドによるファイル書き込み手順

tar コマンドを使用して、/dev/st0 または /dev/nst0 を書き込み先として指定します。

tar cvf /dev/nst0 <ファイル名> <ファイル名>..

tar コマンドを使用したファイル抽出手順

ターゲットファイルの先頭に移動し、tar コマンドを使用して / dev / st0 または / dev / nst0 から読み取ります。

タール xvf /dev/nst0

テープ・ドライブのクリーニング手順

クリーニングが必要な場合は、文字表示に「C」が表示されます。クリーニング カートリッジのみをドライブに挿入します。クリーニングが完了すると、クリーニング・カートリッジが排出されます。

参考情報 URL のご案内

T440 オーナーズマニュアル

https://topics-cdn.dell.com/pdf/poweredge-t440_owners-manual10_en-us.pdf

T440 日本語 マニュアル

https://topics-cdn.dell.com/pdf/poweredge-t440_owners-manual10_ja.pdf

マシンの タグ番号は 777CHV2 です

次の URL を使用して、DELL のサポートリソースの新しいデバイスドライバなどにアクセスできます。

<https://www.dell.com/support/home/en-us/product-support/servicetag/0-WDJVK3YxYmJ6N1BHT0QxK1lRK1lmQT090/overview>